

ワクワク！

治田小 学校だより

2025年12月2日
栗東市立治田小学校
NO. 10

寒さに負けず、元気に「おはよう！」

早いもので師走となりました。暑くて長い夏が終わると、秋を飛び越してすぐに冬がやってきたように感じます。きれいに色づいた木々の葉っぱも、そろそろ落ち葉となって一層寒さを感じさせます。



そんな中でも「子どもは風の子」といわれるように、元気に外で遊ぶ姿がたくさん見られます。委員会活動で計画されたけいどうろ大会にもたくさんの子どもたちが参加し、警察と泥棒に分かれて追いかっこをしていました。そんな姿を見ていると、治田小の子どもたちは本当にたのしく思えます。

治田小では、自分から元気にあいさつできる子どもを目指しています。朝に分団登校しているときも、立ち番に立ってくださっている方々に「おはようございます！」とあいさつできる子どもたちがたくさんいることは、治田小の自慢のひとつです。先日からは、6年生がリーダーとなって、朝の昇降口で「あいさつ運動」に取り組んでくれています。ボランティアで参加している6年生が「おはよう！」と大きな声で元気よく声をかけてくれると登校してきた子どもたちが「おはよう！」と応えてくれて、とても気持ちのよい雰囲気教室に向かってくれています。また、他の学年の子どもたちもボランティアに参加してくれて、あいさつ運動の腕章をつけて、いっしょに「おはよう！」と声を上げてくれています。ボランティアの輪はどんどん膨れ上がって、たくさんの子どもたちによってあいさつの輪が広がっています。



寒くなっていることで、起きるのが遅くなったり、ポケットに手を入れて背中を丸めて登校したりする姿もありますが、朝から元気にあいさつできる子どもは、きっとワクワクと楽しんで充実した一日を過ごすことができると思います。そんな治田っ子のあいさつの輪を、もっともっと広げていきたいと思っています。

ところで、このところインフルエンザの流行により、学級閉鎖をする学級が出てきています。例年に比べて早い時期での流行となりました。感染予防として、うがい手洗いの励行、マスクの着用を心がけるとともに、栄養運動、休息といわれるように、規則正しい生活習慣にご留意いただきますよう、よろしくお願いします。



☆☆卒業式の児童の服装について☆☆

卒業式での卒業生の服装につきまして、以前から華美にならないようにお願いをしておりました。これは、子どもの体調や安全の面を考えたときに、極度の緊張の中で締め付けがきついと貧血等の体調不良が起こったり、トイレに行きづらく我慢をすることがあったり、つまずいて転倒するなどのおそれがあったりするからです。また、式の途中で着崩れてしまうと直すことが難しいことや、華美な服装を求めて競争となってしまうことも心配されます。誰もが式の内容に集中し、厳かな雰囲気と臨めるように、学校としても子どもたちに指導をしていきます。また、教師の服装も華美なものにならないように配慮します。ご理解とご協力をよろしくお願いします。